

株主のみなさまへ



# 第169期 報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

証券コード：4046

<https://www.osaka-soda.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.osaka-soda.co.jp/">https://www.osaka-soda.co.jp/</a> (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。  
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

### 単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(100株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。  
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。  
ホームページアドレス  
<https://www.osaka-soda.co.jp/>



トップページ

Something **Better** with Chemicals

化学で笑顔を  
育む会社

すごソダ



株式会社 大阪ソーダ

本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18  
TEL.06-6110-1560



### 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第169期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長執行役員

寺田 健志

### グループ企業理念

独創的な技術と製品により  
安心して豊かな社会の実現に貢献します

#### 業績ハイライト

売上高	946 億円	前期比	△9.3%	↓
営業利益	105 億円	前期比	△32.6%	↓
経常利益	120 億円	前期比	△30.0%	↓
親会社株主に帰属する 当期純利益	77 億円	前期比	△27.6%	↓
年間配当	90 円			

### 第169期の業績概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の増加や雇用情勢の改善など持ち直しの動きが続きました。一方で、原燃料価格高騰や物価上昇に加え、ウクライナ情勢の長期化、緊迫化する中東情勢、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスク等の影響もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。このような環境のもと、当社グループは、2023年11月に公表した新中期経営計画「Shape the Future - 2025」(2023～2025年度)で掲げた「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

水島工場の製造設備不具合の影響もあり、当連結会計年度の売上高は、945億5千7百万円と前期比9.3%の減少となりました。利益面におきましても、営業利益は104億9千2百万円と前期比32.6%の減少、経常利益は120億8百万円と前期比30.0%の減少、親会社株主に帰属する当期純利益は76億5千万円と前期比27.6%の減少となりました。

なお、期末配当金につきましては、1株当たり45円とし、年間では90円とさせていただきます。

### 今後の対処すべき課題

今後の経済見通しにつきましては、景気の持ち直しが継続するものと期待されますが、原燃料価格のさらなる高騰や物価の上昇のみならず、ウクライナ情勢の長期化、緊迫化する中東情勢、中国経済の先行き懸念、世界的な金融引き締めに伴う景気の下振れリスク等が懸念され、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「Shape the Future - 2025」の2年目を迎えます。中期経営計画初年度は、ヘルスケア事業は計画どおり順調に拡大しましたが、基礎化学品と機能化学品で水島工場アリルクロライド製造設備の不具合や主要製品の需要低下の影響があったため、前年度を大きく下回る結果となりました。引き続き、業務改革活動のさらなる浸透を図りながら、「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針からなる中期経営計画の具体的な施策を着実に実行し、中期経営計画の目標数字の達成を目指してまいります。

次期の業績予想につきましては、売上高1,030億円、営業利益160億円、経常利益168億円、親会社株主に帰属する当期純利益115億円を見込んでおります。

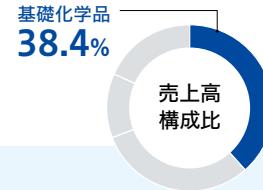
株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# セグメント別の状況(連結)

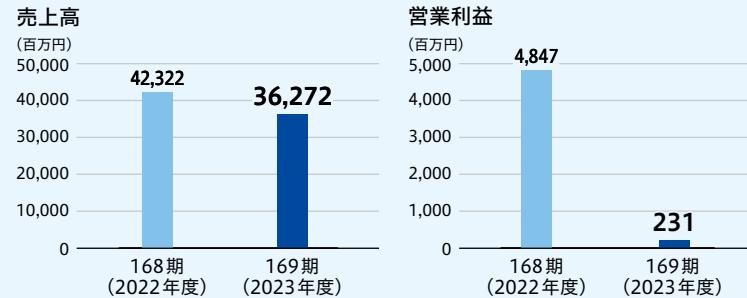
169期(2023年度)より報告セグメントを変更しております。168期(2022年度)の数値は、新セグメントに組み替えた数値です。

## 基礎化学品

売上高 **362億7千2百万円** 前期比 **14.3%減少**

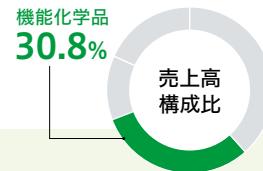


クロール・アルカリは、水島工場の製造設備不具合の影響や需要低下により販売数量が減少したものの、原燃料価格高騰に伴う製品価格の上昇もあり、売上高は増加しました。エピクロルヒドリンは、製造設備不具合の影響による販売調整に加え、エポキシ樹脂の需要低下や市況の軟化により、売上高は減少しました。

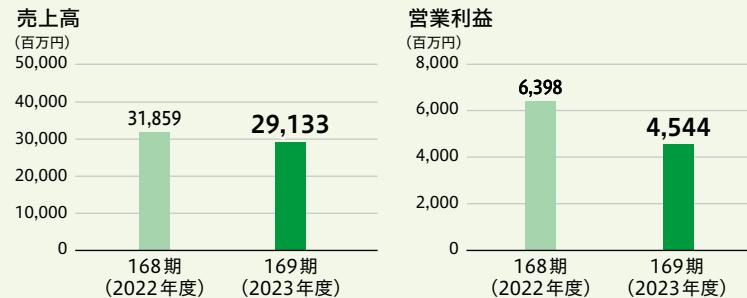


## 機能化学品

売上高 **291億3千3百万円** 前期比 **8.6%減少**



合成ゴム関連では、エピクロルヒドリンゴムは、自動車生産台数の回復に伴い、売上高は増加しました。アクリルゴムは、国内外で新規採用が進んだため、アジア向けを中心に売上高は増加しました。ダップ樹脂は、国内および欧米で需要は低迷しましたが、中国向けが好調に推移したため、売上高は増加しました。アリルエーテル類では、欧米および中国で塗料用途を中心としたシランカップリング剤向けの需要低下に加え、市況の軟化により、売上高は減少しました。

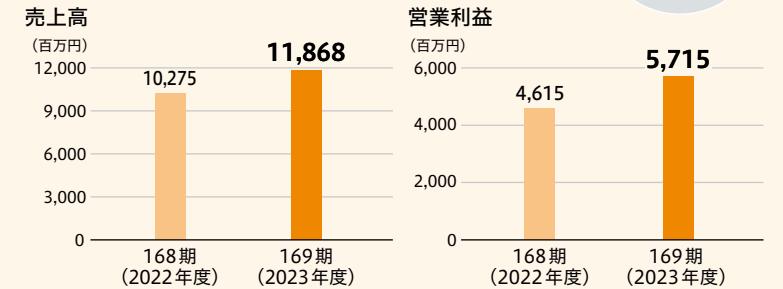


## ヘルスケア

売上高 **118億6千8百万円** 前期比 **15.5%増加**

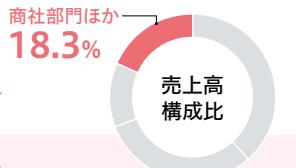


医薬品精製材料は、欧米ならびにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、核酸医薬原薬、骨粗鬆症治療薬原薬および抗がん剤中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

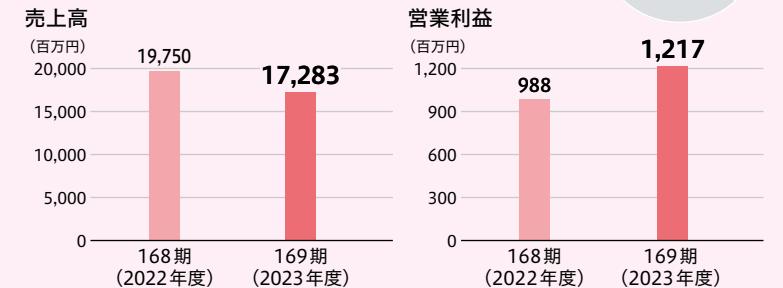


## 商社部門ほか

売上高 **172億8千3百万円** 前期比 **12.5%減少**



生活関連商品は、販売が堅調に推移したため売上高は増加しましたが、ガラス繊維等を中心に電子材料および自動車向け商材が低調に推移したため、売上高は減少しました。



### 当社グループのセグメントと主要製品

#### 基礎化学品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライドなど

#### 機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、アクリルゴム、ダップ樹脂、ノンフタレート型アリル樹脂、高純度エポキシ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、電極など

#### ヘルスケア

医薬品精製材料、カラム・装置等分析機器、医薬品原薬・中間体、光学活性体など

#### 商社部門ほか

化学製品の販売・輸送・貯蔵、生活関連商品、建材、資源リサイクルなど

# 連結財務諸表

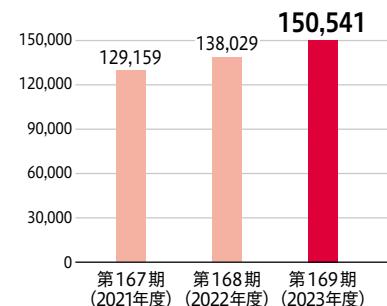
## 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科目	前連結会計期末 (2023年3月31日)	当連結会計期末 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	89,640	92,444
固定資産	48,389	58,096
有形固定資産	25,103	27,932
無形固定資産	639	772
投資その他の資産	22,645	29,391
資産合計	138,029	150,541
<b>負債の部</b>		
流動負債	32,310	32,860
固定負債	6,175	7,915
負債合計	38,485	40,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本	91,812	96,377
その他の包括利益累計額	7,723	13,383
非支配株主持分	8	4
純資産合計	99,543	109,765
負債純資産合計	138,029	150,541

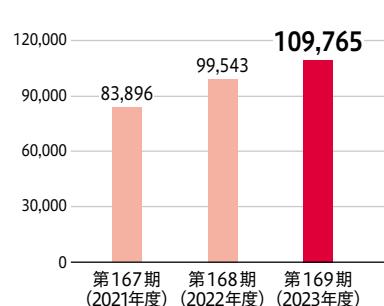
### 総資産

（単位：百万円）



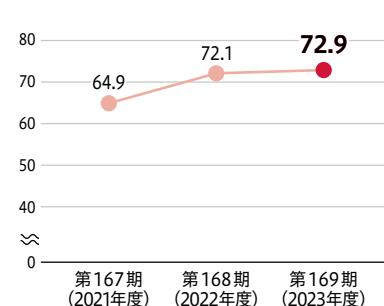
### 純資産

（単位：百万円）



### 自己資本比率

（単位：%）



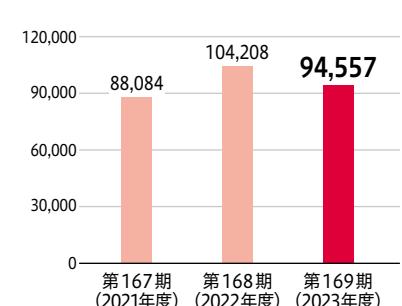
## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科目	前連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
売上高	104,208	94,557
売上原価	73,740	69,760
売上総利益	30,467	24,796
販売費及び一般管理費	14,910	14,304
営業利益	15,557	10,492
営業外収益	2,119	2,230
営業外費用	511	714
経常利益	17,164	12,008
特別利益	421	181
特別損失	1,568	798
税金等調整前当期純利益	16,018	11,391
法人税、住民税及び事業税	5,433	3,649
法人税等調整額	33	104
当期純利益	10,552	7,637
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	△18	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	10,570	7,650

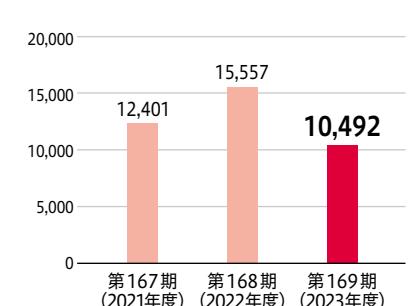
### 売上高

（単位：百万円）



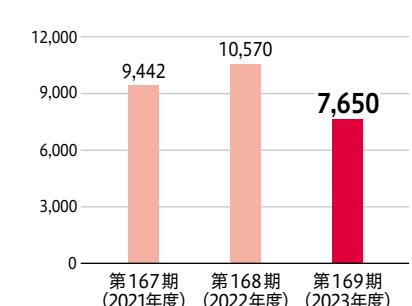
### 営業利益

（単位：百万円）



### 親会社株主に帰属する 当期純利益

（単位：百万円）



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前連結会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日)	当連結会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,354	8,597
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,380	△4,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,596	△3,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	428	453
現金及び現金同等物の増減額	△194	1,588
現金及び現金同等物の期首残高	37,016	36,843
現金及び現金同等物の期末残高	36,843	38,432

## TOPICS

### 電池研究棟が完成

本年3月、研究センターにて電池研究棟が完成いたしました。当社では、合成ゴムの製造・開発で培ってきた独創的な技術を応用して、車載用途などで実用化が期待される全固体電池用材料の開発を推進しています。

このたび新設した電池研究棟は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) のグリーンイノベーション基金事業に採択された「全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー」の研究開発から評価までを一貫して行う施設となります。

当社は、これを機に開発スピードを加速させ、早期事業化に取り組むことで、カーボンニュートラル社会の実現への貢献を目指してまいります。



電池研究棟(研究センター)

## 株式の状況

発行可能株式総数-----60,000,000株  
発行済株式の総数-----26,732,017株  
株主数-----5,193名

## 大株主一覧(上位10名)

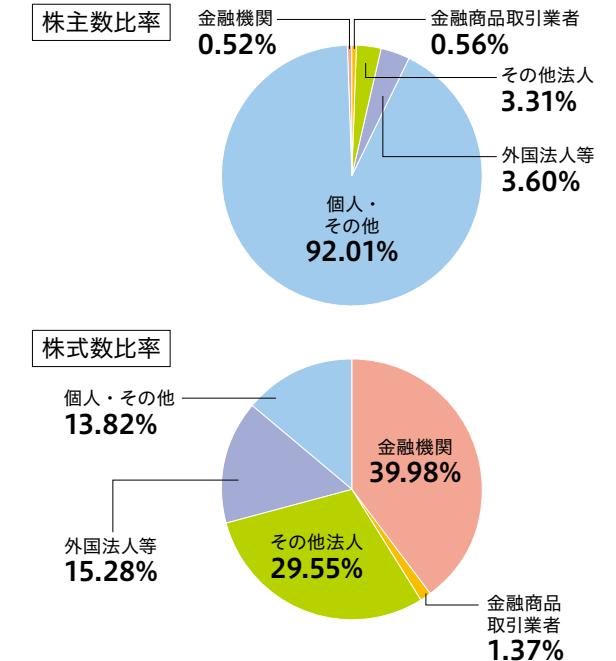
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,277	12.91
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,272	8.95
株式会社三菱UFJ銀行	876	3.45
株式会社福岡銀行	822	3.24
株式会社伊予銀行	748	2.95
株式会社みずほ銀行	669	2.63
日本生命保険相互会社	637	2.51
ダイソー協栄会	616	2.42
損害保険ジャパン株式会社	615	2.42
旭化成株式会社	586	2.31

(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(1,359,017株)を控除して計算しております。

## 配当について

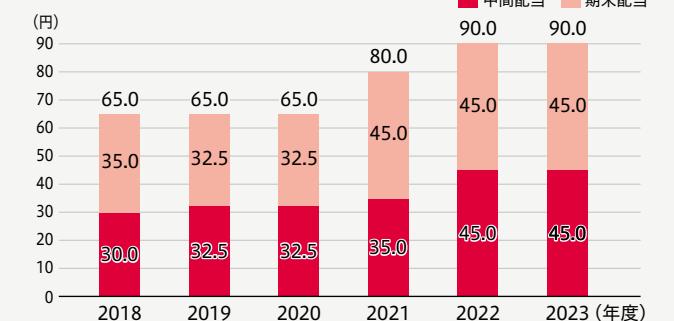
1. 期末配当金 1株当たり45円(年間90円)
2. 支払開始日 2024年6月10日(月)

## 株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(5.08%)が含まれております。

## 1株当たりの配当実績



# 会社概要 (2024年3月31日)

社 名 ..... 株式会社大阪ソーダ  
 OSAKA SODA CO., LTD.  
 U R L ..... <https://www.osaka-soda.co.jp/>  
 創 立 ..... 1915年(大正4年)10月26日  
 資 本 金 ..... 15,871百万円  
 連結従業員数 ..... 1,025名

## 関係会社の状況

### 国内

会社名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品・生活関連商品等の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造・販売、メンテナンス
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
サンヨーファイン医理化テクノロジー(株)	カラム・装置等分析機器の製造
DSウェルフーズ(株)	健康食品素材の製造・加工販売
ダイソーインシュアランス(株)	損害保険・生命保険の取扱い
(株)INBプランニング	ゴムコンパウンドの製造・販売

### 海外

会社名	主要な事業内容
三耀精細化工品銷售(北京)有限公司	カラム・装置等分析機器の販売
DAISO Fine Chem USA, Inc.	医薬品精製材料の製造・販売
DAISO Fine Chem GmbH	医薬品精製材料・機能化学品等の販売
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入
DestinHaus Capital Fund 1 LP	投資事業
Elite Advanced Polymers, Inc.	ゴム製品の製造・販売

## 役員

### [取締役・監査役]

代表取締役 社長執行役員	寺田 健志
取締役 上席執行役員	小西 淳夫
取締役 上席執行役員	木村 武司
取締役(社外)	二村 文友
取締役(社外)	百嶋 計
取締役(社外)	宮田 興子
常勤監査役	瀬川 恭史
常勤監査役(社外)	藤藪 重紹
監査役(社外)	森 真二

### [執行役員]

執行役員	勝間 賢一
執行役員	今村 徹

# 大阪ソーダグループのネットワーク (2024年3月31日)

●国内拠点・研究センター  
 ●生産拠点

